

随意契約結果書

| | |
|--|---|
| 物品等の名称 及び数量 | 香里職員宿舎跡地擁壁緊急調査作業 |
| 契約担当官等の 氏名並びにその 所属する部局の 名称及び所在地 | 分任支出負担行為担当官 近畿地方整備局浪速国道事務所長 中西 健一郎 大阪府大阪市西区九条南1丁目4番18号 |
| 契約締結日 | 令和 6年 4月 1日 |
| 契約の相手方の 氏名及び住所 | 株式会社エイト日本技術開発 大阪府大阪市淀川区野中北1-12-39 |
| 契約金額 (消費税及び地 方消費税含む) | ¥1,595,000- |
| 予定価格 (消費税及び地 方消費税含む) | ¥1,617,000- |
| 随意契約による こととした理由 | 別紙のとおり |
| 備 考 | |

随意契約理由書

■件名：香里職員宿舎跡地擁壁緊急調査作業

■業者名：(株) エイト日本技術開発

■随意契約の理由：

本件は、香里職員宿舎跡地敷地内において、枚方市道に接する法面のブロック積擁壁のモルタル部分が劣化し、落下等による第三者被害の恐れもあるため、危険度を判定し、対策の逼迫度を調査する業務である。

1月26日に隣接する枚方市道（通学路指定）の通行者から、当該宿舎の法面擁壁の異常を知らせる通報があったと枚方市役所から連絡を受けた。連絡を受けて直ちに現地調査を行ったところ、間詰め目地モルタルが劣化し浮いている箇所（3箇所）が見受けられる・モルタル部分にクラックも発生している・それに伴い一部押し出された状態のブロックも見られる等の状況があり、劣化したモルタル箇所は強い衝撃（強い地震、車両衝突など）があれば落下の恐れがあり、隣接する枚方市道（通学路指定）の歩行者等に対し、第三者被害を生じさせる恐れがあることが確認された。そのため同年2月6日に、応急対策として、ブロック積擁壁面にモルタルの落下、飛散防止のためネット等を設置したところである。

しかし、対策はあくまでも簡易なものであり、本格的な対策方法を検討するために、まずは早急に現状の危険度を判定するための調査を行うことが不可欠であると考えられたので、応急対策後にその調査方法を検討の末に決定した。調査業者については、新たに競争入札で調査業者を決定することを検討したが、応急対策によりどこまで安全性が確保されているか不透明な中、できるだけ早急な調査が望まれるため、やむなく随意契約で調査業者を決定することとした。

そこで緊急対応可能な業者を探したところ、当該業者は、現在、当事務所において調査設計業務を受注しており、必要な資機材を保有しており、直ちに作業に着手することが可能であったため、上記業者を相手方として随意契約を締結するものである。

令和6年4月1日
経理課長 杉本 晃平